

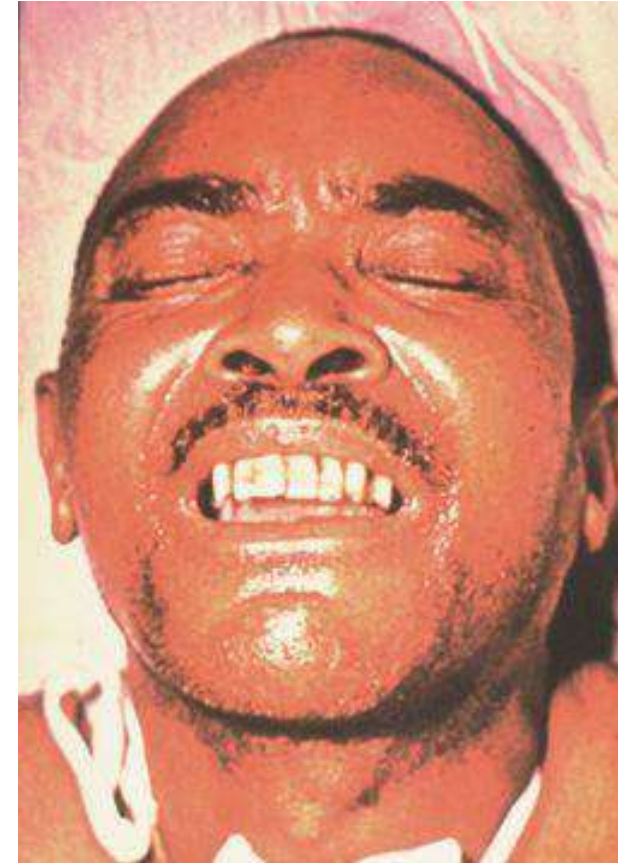
2 患者を症候群で捉えてみる

神経症候群

全身の痙攣と特徴的な顔貌



痙笑



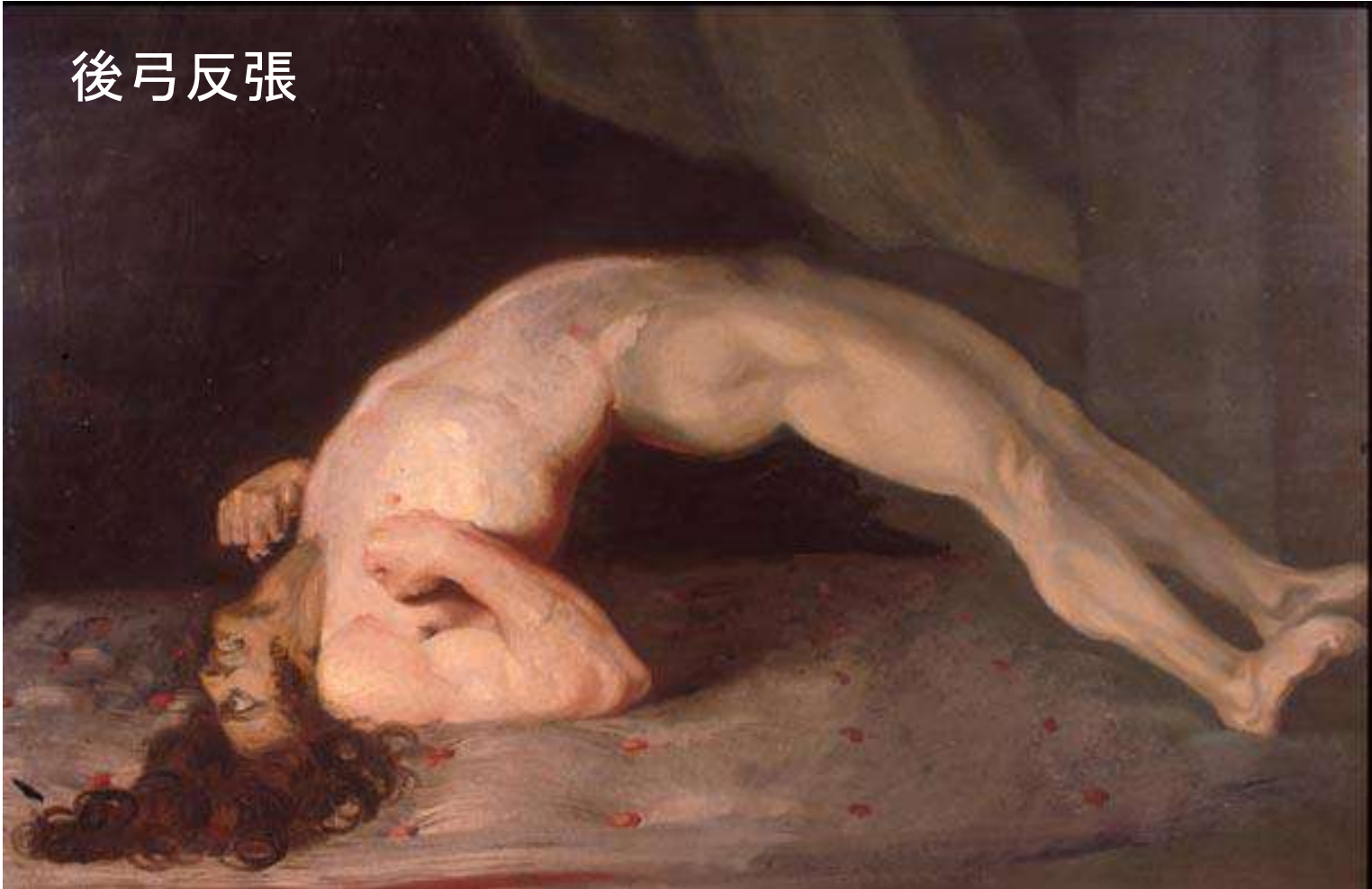
開口障害(牙関緊急)

三叉神経麻痺と咬筋の硬直による症状

神経症候群

全身の痙攣と特徴的な顔貌

後弓反張



皮膚粘膜症候群

創部感染で水疱・ガスを産生



疼痛、浮腫・腫脹、水疱



ガス産生、握雪感

糖尿病、動脈硬化症、大腸がんなどの基礎疾患を有する者が罹患しやすい

皮膚粘膜症候群

創部感染で水疱・ガスを産生



Clean wound



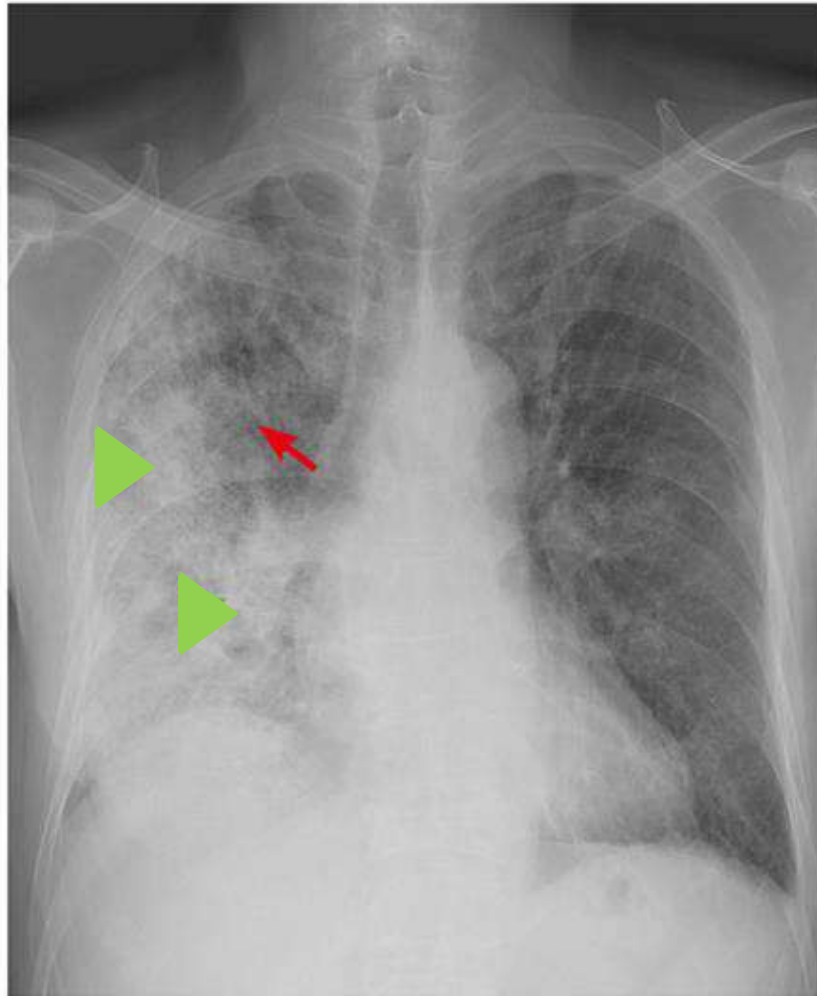
Gangrenous wound



ガス壊疽

急性呼吸器症候群

高熱、頭痛、寒気、筋肉痛 + 乾性咳嗽、胸痛



すりガラス陰影↑ と浸潤影▲

加湿器に起因する呼吸器感染



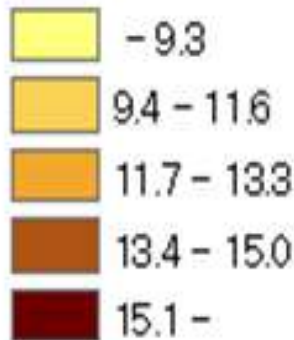
2018年1月 大分県国東市内高齢者施設
(西日本新聞より)

レジオネラ症

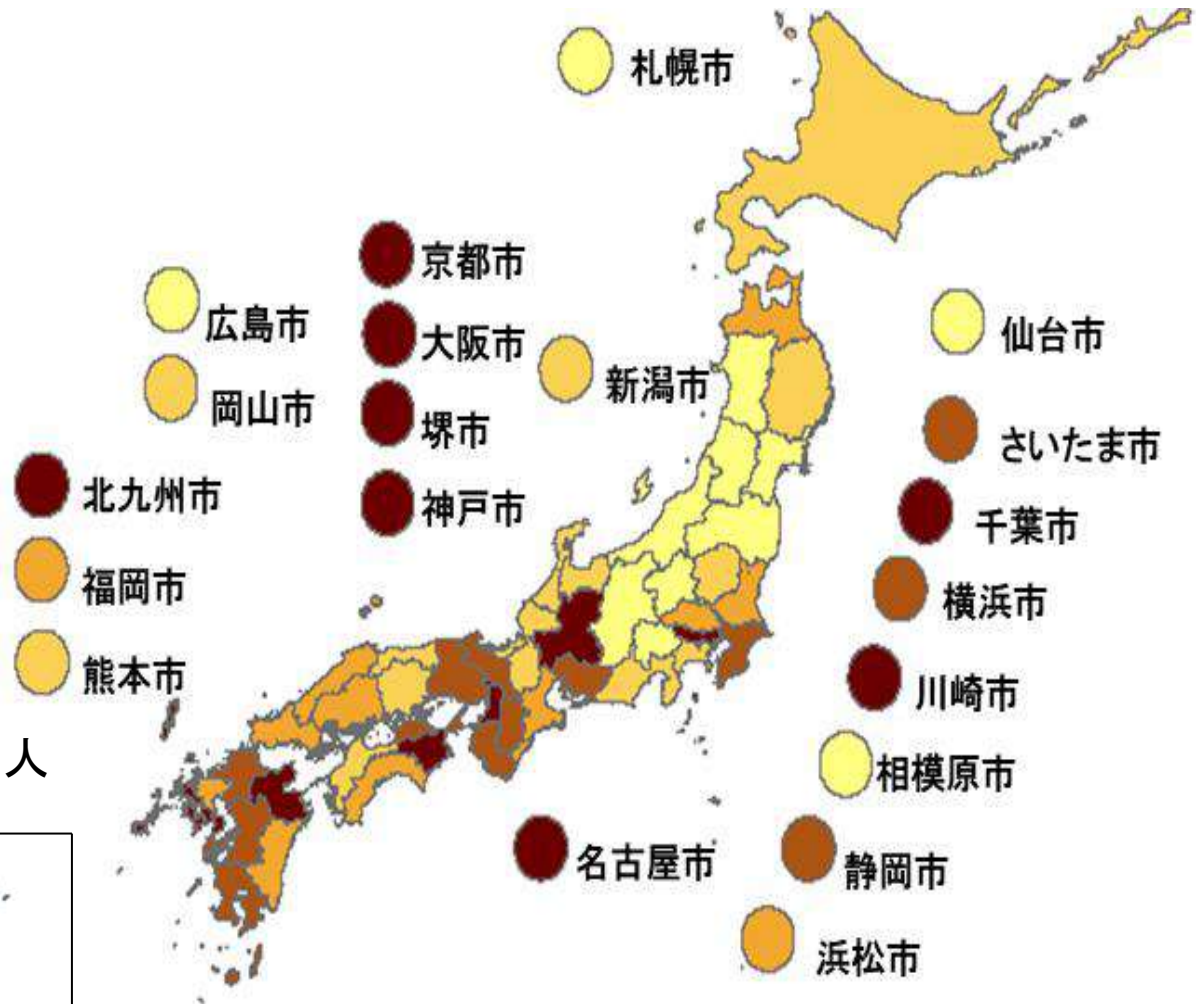
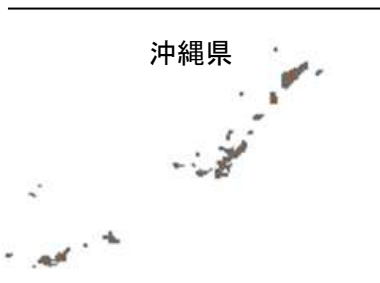
急性呼吸器症候群

2週間以上の咳、寝汗、血痰、微熱

2016年
〇〇罹患率



全国 13.9人/10万人



結核

急性消化器症候群

軽度発熱、嘔吐、腹痛、下痢

YOU DON'T WANT IT.

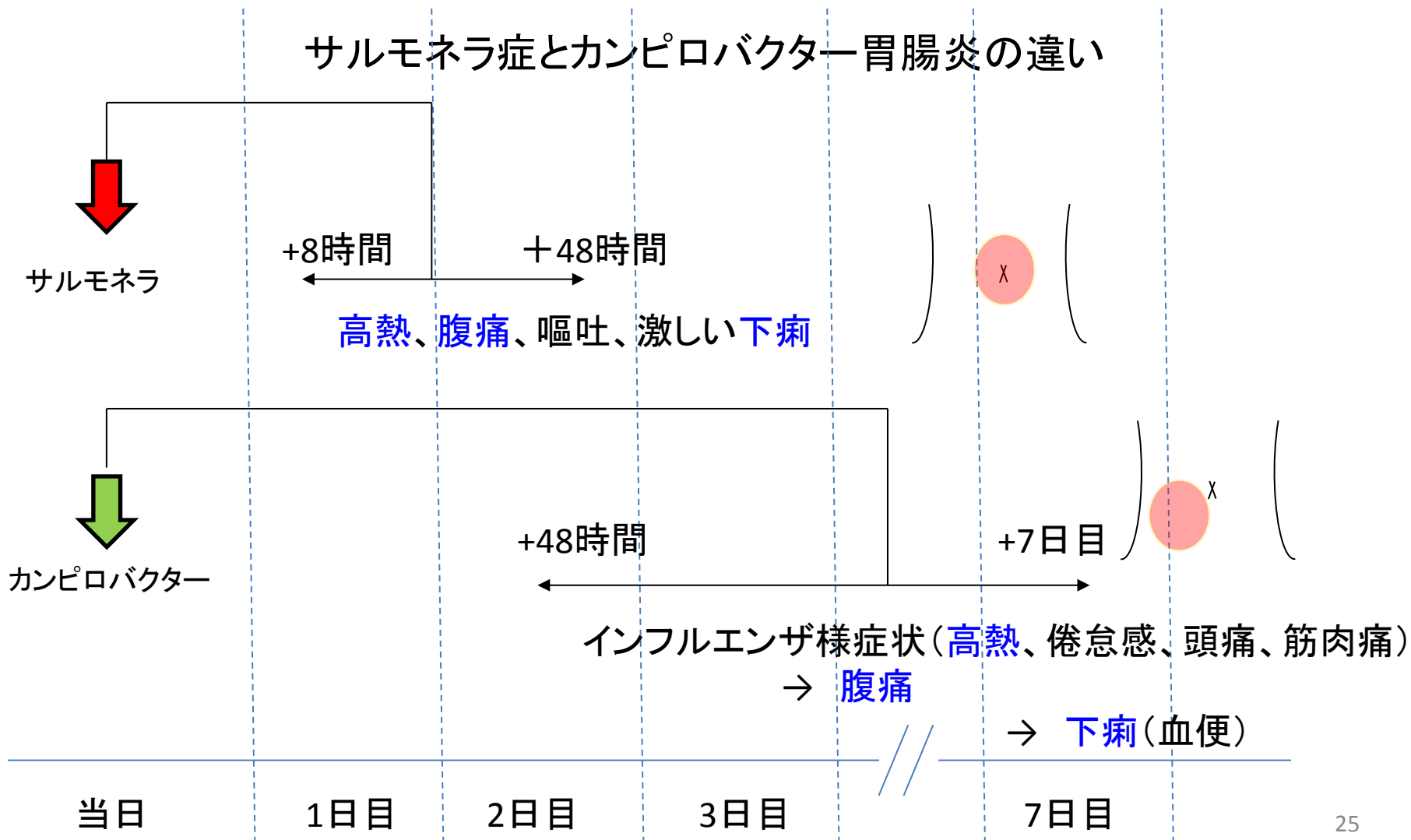


ノロウイルス胃腸炎

急性消化器症候群

高熱、腹痛、下痢

サルモネラ症とカンピロバクター胃腸炎の違い



急性消化器症候群

発熱、腹痛、ゼリー状の血性下痢



おいしいイチゴゼリー



Mucus Bloody stool

アメーバ性赤痢

急性消化器症候群

発熱、腹痛、血便



おいしい赤ワイン



Bloody diarrhea

細菌性赤痢
腸管出血性大腸菌感染症

急性消化器症候群

嘔吐、水様性下痢、ただし腹痛なし（発熱無し）



米のとぎ汁



Rice water stool

急性消化器症候群

嘔吐、水様性下痢、ただし腹痛なし（発熱無し）



眼が窪み、鼻と頬骨が尖り、無表情、顔面蒼白

眼球運動異常

脱水による特徴的な顔貌

急性消化器症候群

嘔吐、水様性下痢、ただし腹痛なし（発熱無し）



スキンテント
Skin tenting



洗濯婦の手
Washer Woman's Hand

脱水による皮膚所見

コレラ

急性消化器症候群

腹痛、下痢、ただし嘔吐なし（発熱無し）

煮込んであるから大丈夫？



カレー



シチュー

ウエルシュ菌

急性黄疸症候群

高熱、黄疸、眼球充血 + 歩行困難



腓腹筋の疼痛

レプトスピラ症

急性黄疸症候群



裸足がリスクとなる



傷があればより高リスク



洪水後にリスクが高い



ドブネズミとの接触

急性皮膚粘膜症候群

イヌ、ネコによる咬傷

受傷部位の発赤、腫脹、激痛



- 激痛、発赤、腫脹(受傷後30分~2、3時間)
- しばしば蜂窩織炎を起こす

<https://www.bird-x.com/pasteurellosis--pages-355.php>

- セファレキシンによる治療が奏功しない
- 敗血症、関節炎を発症

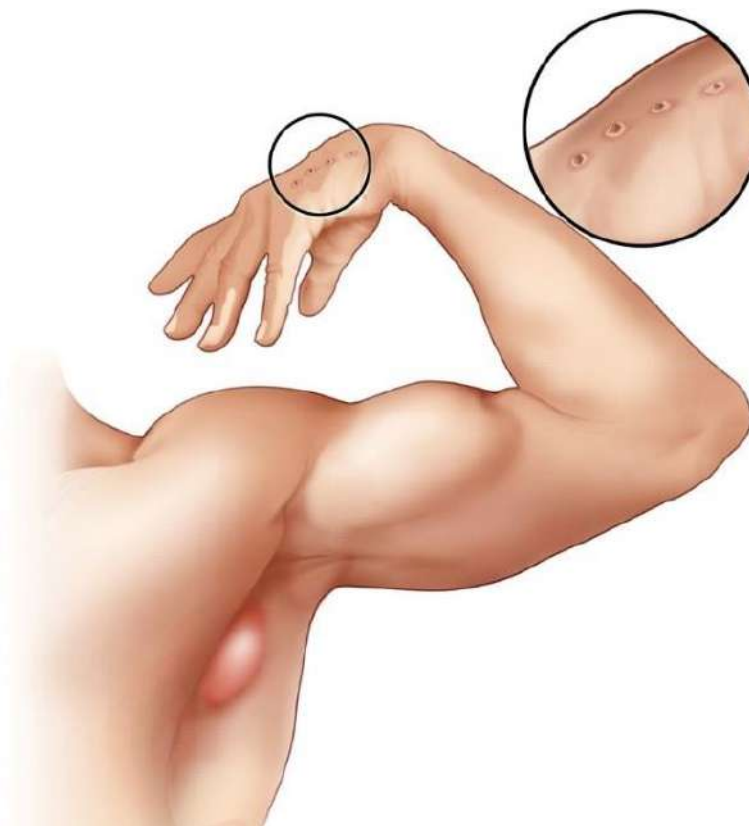
Lecture note Mammal and Human bite injuries, from Dr. Jim Holliman
<http://www.slideshare.net/openmichigan/gemc-resident>

パストレラ症

急性皮膚粘膜症候群

イヌ、ネコによる咬傷

受傷部位の水疱、リンパ節腫脹



受傷後1~3週間後に

耳介後部リンパ節腫脹

所属リンパ節の疼痛を伴う腫脹

水疱が破れた後の発疹部分

バルトネラ症(猫ひっかき病)

急性皮膚粘膜症候群

手、足、口に発疹



- 口腔内水疱、疼痛、発熱(±)
- 下痢などの胃腸症状
- 重症化することあり
 - 脳炎
 - 髄膜炎
 - 小脳失調症

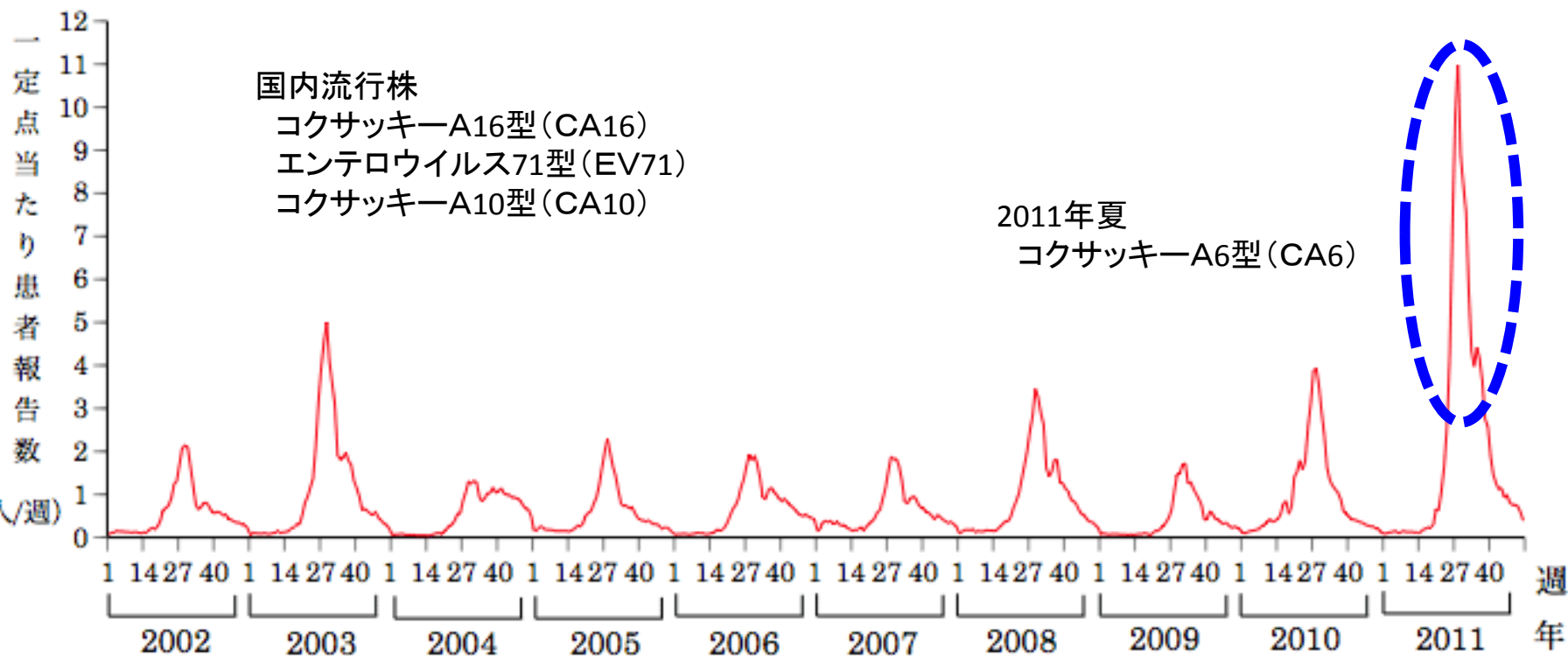


急性皮膚粘膜症候群

手、足、口に発疹



図1. 手足口病患者報告数の推移, 2002年第1週~2011年第52週 (感染症発生動向調査)



2011年に全国規模で流行となるが、被災地においても遅れて流行が始った。

ボランティアにより持ち込まれた感染症

手足口病 ³⁷

呼吸器症候群(カタル症状) → 発疹

咳、発熱、カタル症状 + 発疹



結膜炎、鼻汁、咳



口腔内粘膜疹(コプリック斑)



麻疹

急性神経症候群 + 皮膚粘膜症候群

高熱、頭痛、発疹 + 紫斑病



頭痛、項部硬直



初期発疹



電撃性紫斑病

髄膜炎菌性髄膜炎

災害後に発生する可能性がある症候群

症候群	臨床症状	予測される感染症
急性呼吸器症候群	発熱、頭痛、呼吸器症状、	インフルエンザ
	全身倦怠感、頭痛、筋肉痛、悪寒、胸痛、乾性咳嗽	レジオネラ肺炎
	微熱、咳、痰(時に血痰)	結核
急性消化器症候群	血性下痢、発熱	赤痢、EHEC、サルモネラ、カンピロバクターなど
	水様性下痢、発熱なし	コレラ
	発熱、腹痛、下痢	ノロウイルス胃腸炎など
	腹痛、嘔吐・下痢など、発熱なし	毒素型食中毒(黄色ブドウ球菌、ウエルシュ菌など)
急性呼吸器症候群 →皮膚粘膜症候群	発熱、カタル症状、のちに発疹	麻疹
皮膚粘膜症候群	疼痛、浮腫・腫脹、握雪感	ガス壊疽菌
	発熱、リンパ節腫脹、発疹	風疹
	発熱、耳下腺腫脹・疼痛	ムンプス
	発熱、頭痛、発疹	髄膜炎菌
	水疱	水痘、単純ヘルペス、手足口病
神経症候群	開口障害、嚥下障害、けいれん	破傷風菌
急性黄疸症候群	発熱、悪寒、結膜充血、黄疸、歩行困難、腎障害	レプトスピラ症

平時と災害時における感染制御策の違い

平時

検査確定後に病原微生物の特徴
に応じて追加

感染経路別対策

空気感染・飛沫感染・接触感染対策

標準予防策

すべての患者に適用

災害時

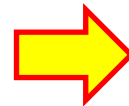
検査確定前に**症候群を基**に経験的に
病原体を予測

経験的予防策

呼吸器、消化器、皮膚粘膜、
神経、黄疸症候群

標準予防策

すべての患者に適用



災害後に発生する可能性がある症候群

症候群	臨床症状	予測される感染症	治療・処置	感染制御策	
				標準予防策	経験的予防策
急性呼吸器症候群	発熱、頭痛、呼吸器症状	インフルエンザ	迅速検査(インフルエンザ抗原)	○	飛沫感染対策+接触感染対策
	全身倦怠感、頭痛、筋肉痛、悪寒、胸痛、乾性咳嗽	レジオネラ肺炎	迅速検査(尿中抗原)	○	飛沫感染対策+接触感染対策
	微熱、咳、痰(時に血痰)	結核	PCR検査	○	空気感染対策
急性消化器症候群	血性下痢、発熱	赤痢、EHEC、サルモネラ、カンピロバクターなど	抗菌薬、対症療法	○	接触感染対策
	水様性下痢、発熱なし	コレラ	経口補液、対症療法	○	接触感染対策
	発熱、腹痛、下痢、嘔吐	ノロウイルス胃腸炎など	対症療法	○	接触感染対策
	腹痛、嘔吐・下痢など、発熱なし	毒素型食中毒(黄色ブドウ球菌、ウエルシュ菌など)	対症療法	○	—
急性呼吸器症候群 →皮膚粘膜症候群	発熱、カタル症状、のちに発疹	麻疹	対症療法	○	空気感染対策
皮膚粘膜症候群	疼痛、浮腫・腫脹、握雪感	ガス壊疽菌	創部管理、大量ペニシリン・メトロニダゾール投与	○	—
	発熱、リンパ節腫脹、発疹	風疹	対症療法	○	飛沫感染対策+接触感染対策
	発熱、耳下腺腫脹・疼痛	ムンプス	対症療法	○	飛沫感染対策+接触感染対策
	発熱、頭痛、発疹	髄膜炎菌	抗菌薬投与	○	飛沫感染対策
	水疱	水痘、単純ヘルペス、手足口病	対症療法	○	空気感染対策+接触予防策
神経症候群	開口障害、嚥下障害、けいれん	破傷風菌	創部管理、大量ペニシリン・メトロニダゾール投与、免疫グロブリン、けいれん管理、対症療法、	○	—
急性黄疸症候群	発熱、悪寒、結膜充血、黄疸、歩行困難、腎障害	レプトスピラ症	PCR検査など、テトラサイクリンなど抗菌薬投与	○	-42